
松浦市の地域経済循環分析

2018年2月8日

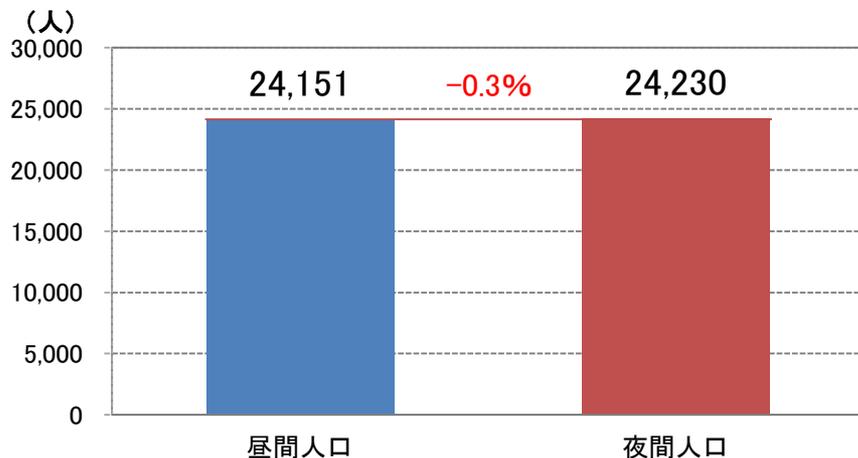
目次

1. 松浦市の地域経済循環分析の概要
2. 松浦市の課題と取組の方向性

1. 松浦市の地域経済循環分析の概要

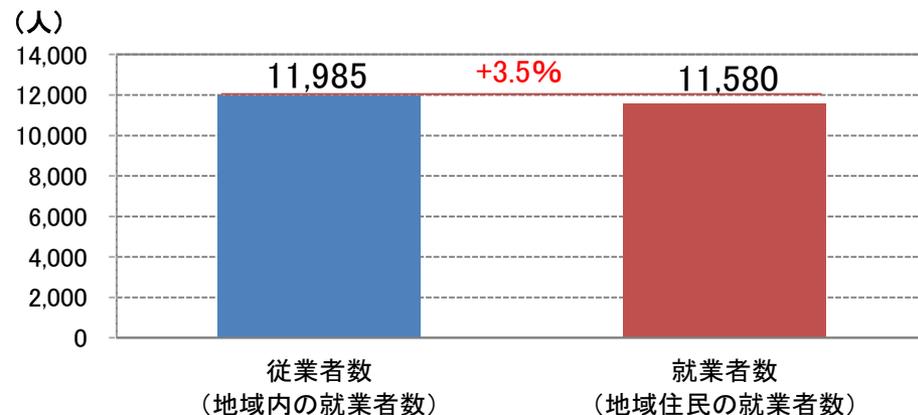
地域の概要（松浦市）

① 夜間人口・昼間人口（2013）



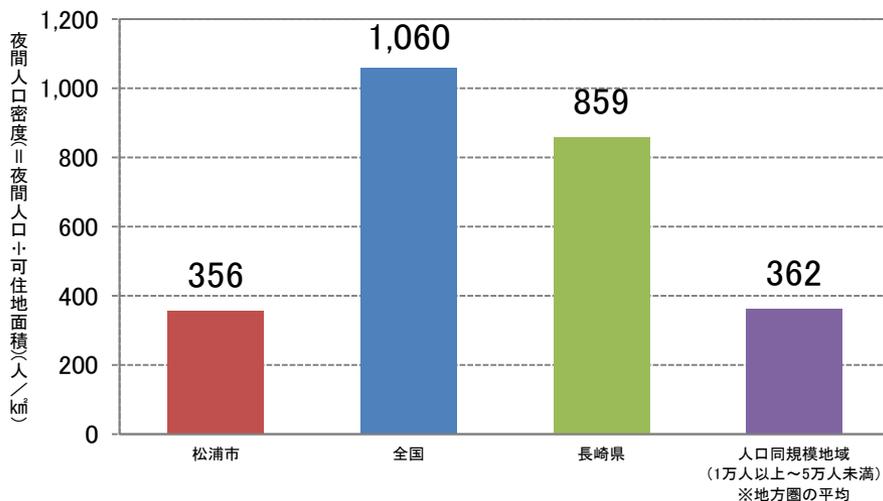
出所：総務省「平成22年国勢調査」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より作成

② 就業者数と従業者数（2013）



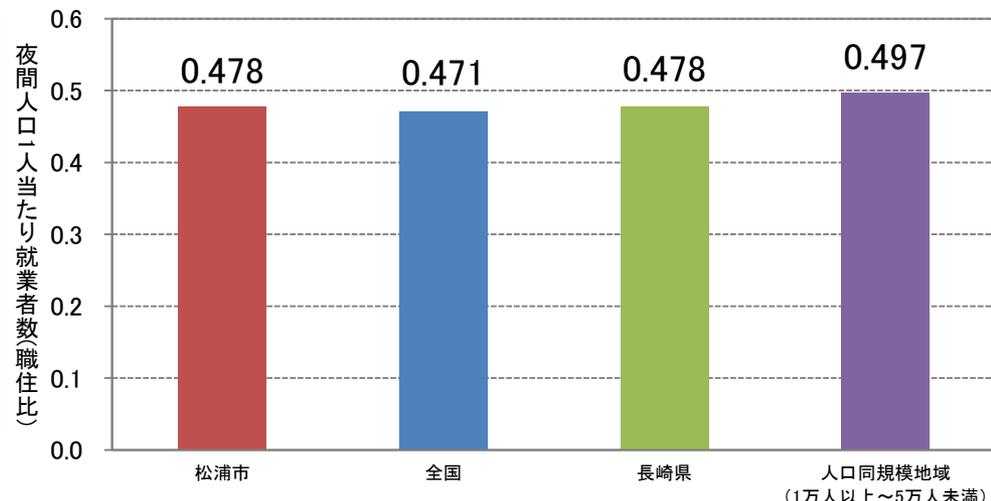
注）従業者数は、従業地における就業者の数（域外からの通勤者を含む）である。
 就業者数は、常住地の住民の就業者の数（域外への通勤者を含む）である。
 出所：総務省「平成22年国勢調査」、「平成21年・平成26年経済センサス基礎調査」より作成

③ 夜間人口密度（＝夜間人口／可住地面積）



出所：総務省「平成22年国勢調査」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「統計でみる市区町村のすがた2012」より作成

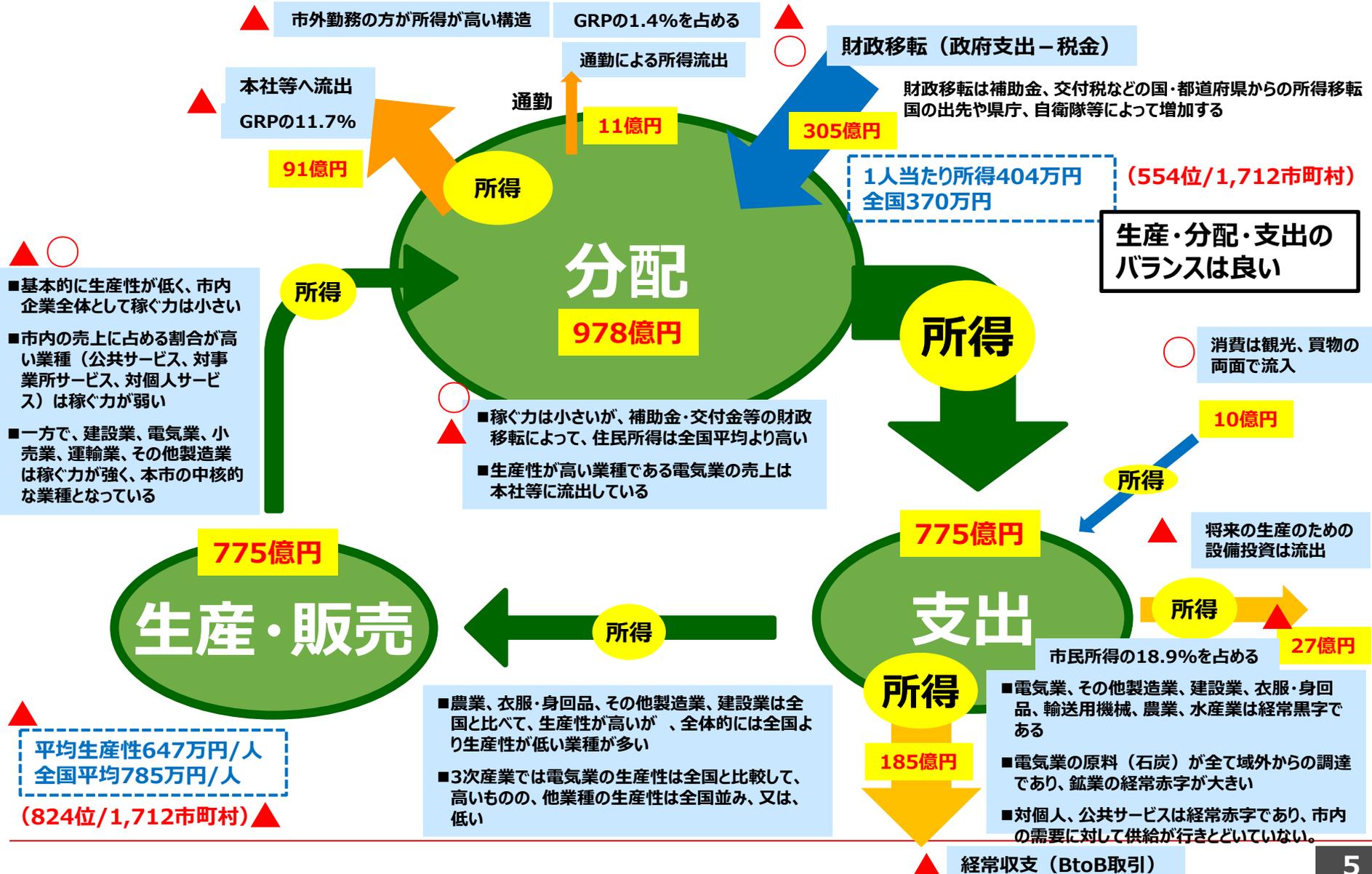
④ 夜間人口1人当たり就業者数（職住比）



出所：総務省「平成22年国勢調査」、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」等より作成

地域経済循環分析：全体の構造

地域の稼ぐ力が弱く、設備投資や生産に所得が循環しておらず、財政移転等に依存している



参考) RESAS地域経済循環分析図

地域経済循環率

79.3%

地域経済循環図

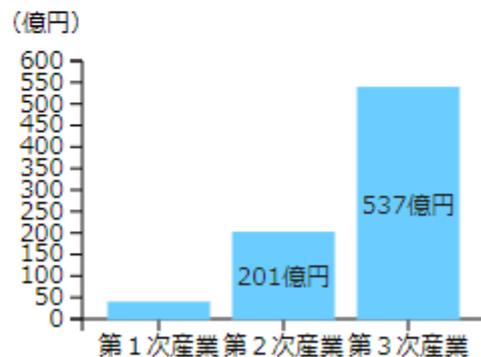
2013年

指定地域：長崎県松浦市

所得への分配

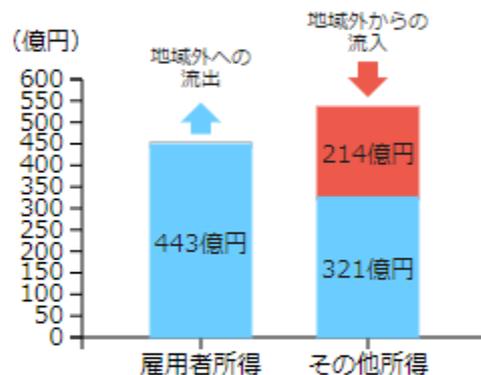
775

生産（付加価値額）



詳細を見る

分配（所得）

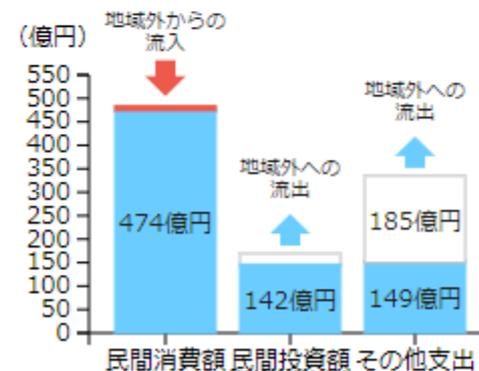


詳細を見る

所得からの支出

978

支出



詳細を見る

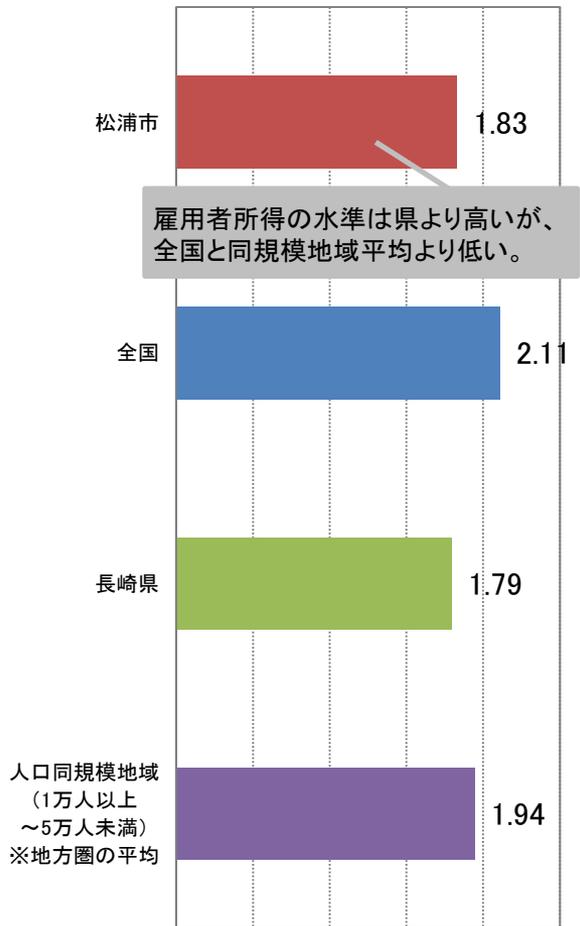
支出による生産への還流

775

住民1人当たり所得（松浦市）

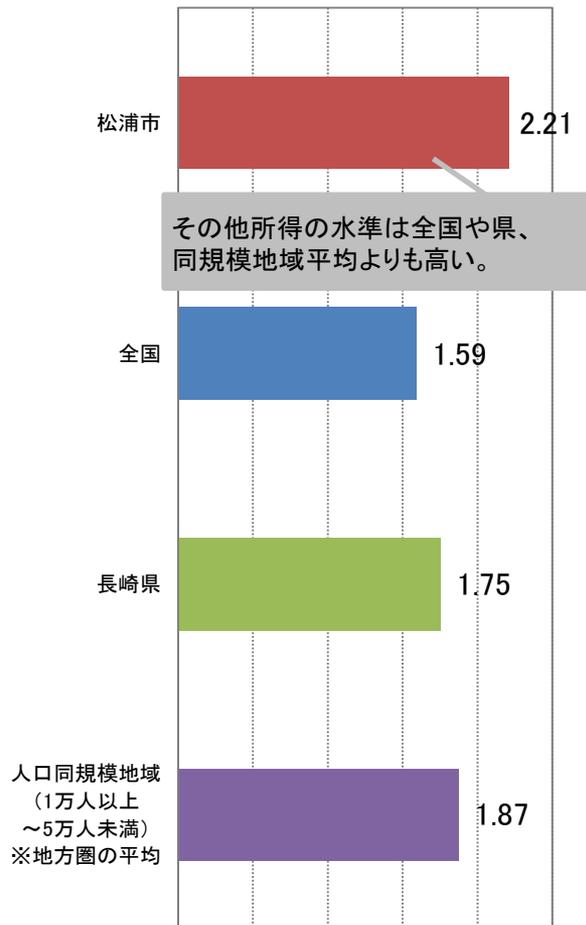
①夜間人口1人当たり雇用者所得

夜間人口1人当たり雇用者所得(百万円/人)
0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5



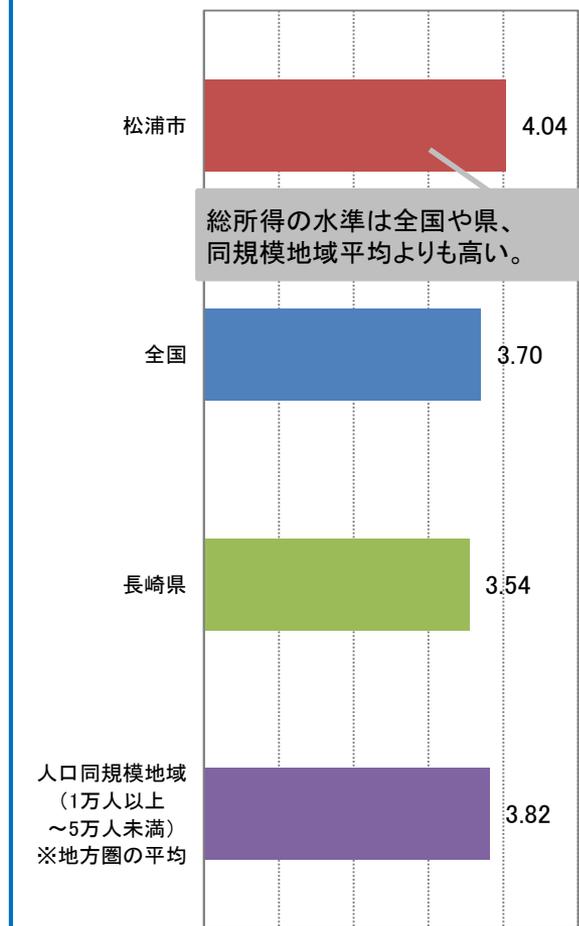
②夜間人口1人当たりその他所得

夜間人口1人当たりその他所得(百万円/人)
0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5



③夜間人口1人当たり所得 (=雇用者所得+その他所得)

夜間人口1人当たり所得(百万円/人)
0.0 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

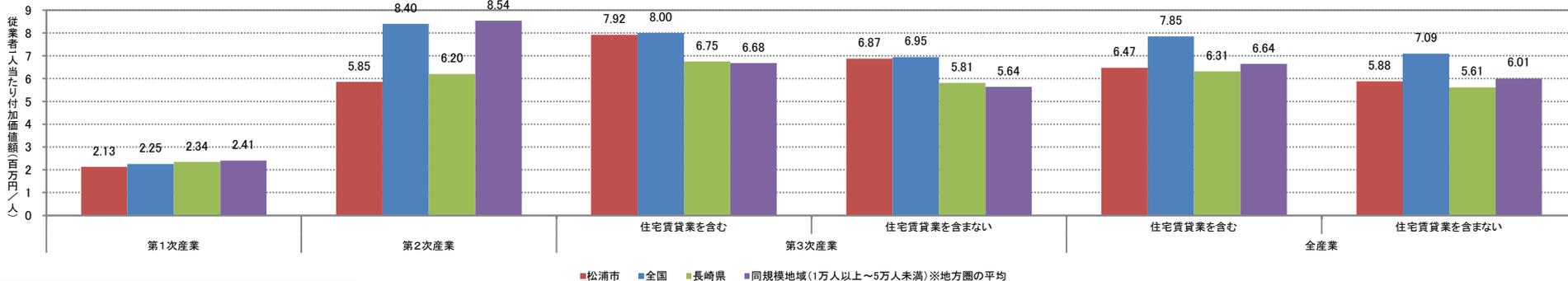


注1) 雇用者所得は、地域内の生産活動によって生み出された付加価値のうち、労働を提供した雇用者への分配額である。

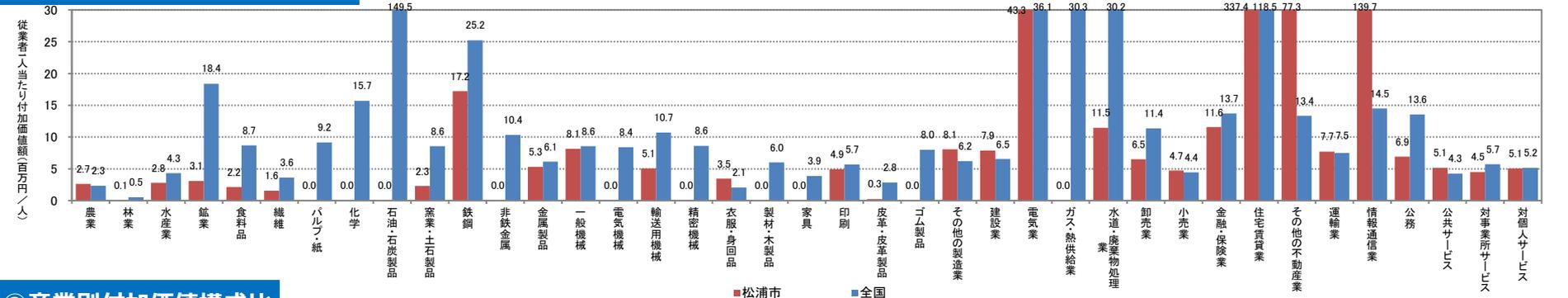
注2) その他所得とは雇用者所得以外の所得であり、財産所得、企業所得、財政移転(交付税、補助金等)等が含まれる。

地域の稼ぐ力 (松浦市)

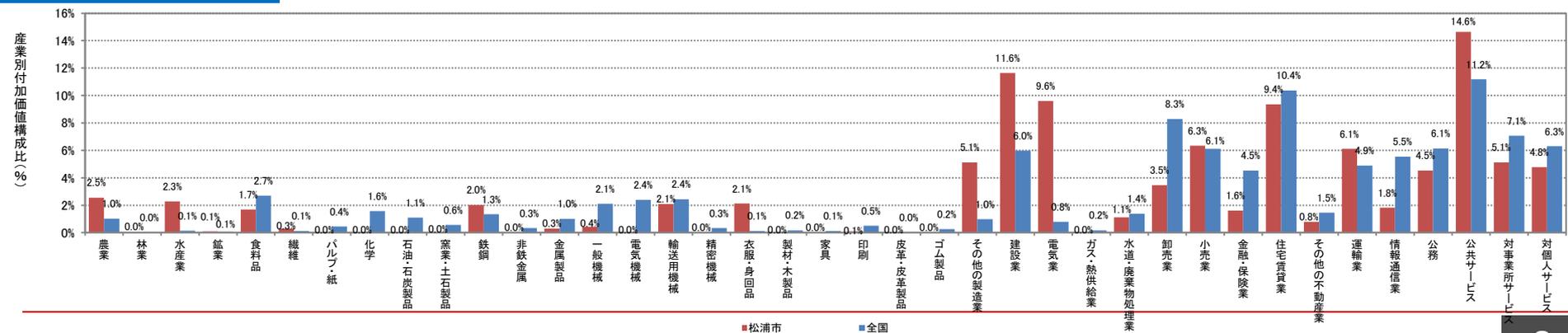
① 産業別労働生産性



② 産業別労働生産性 (39産業)



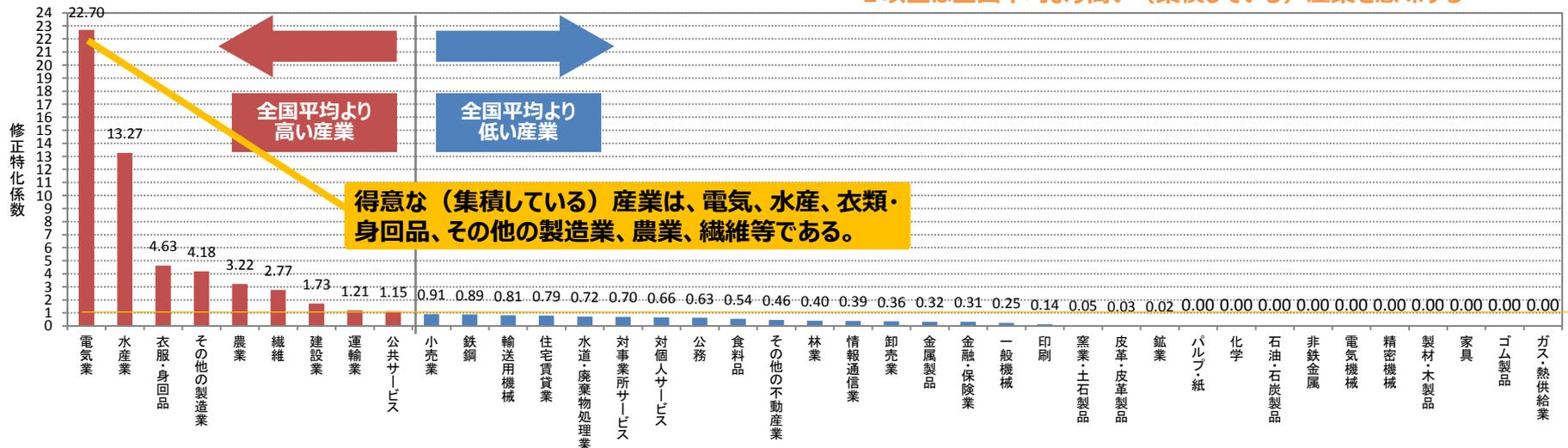
③ 産業別付加価値構成比



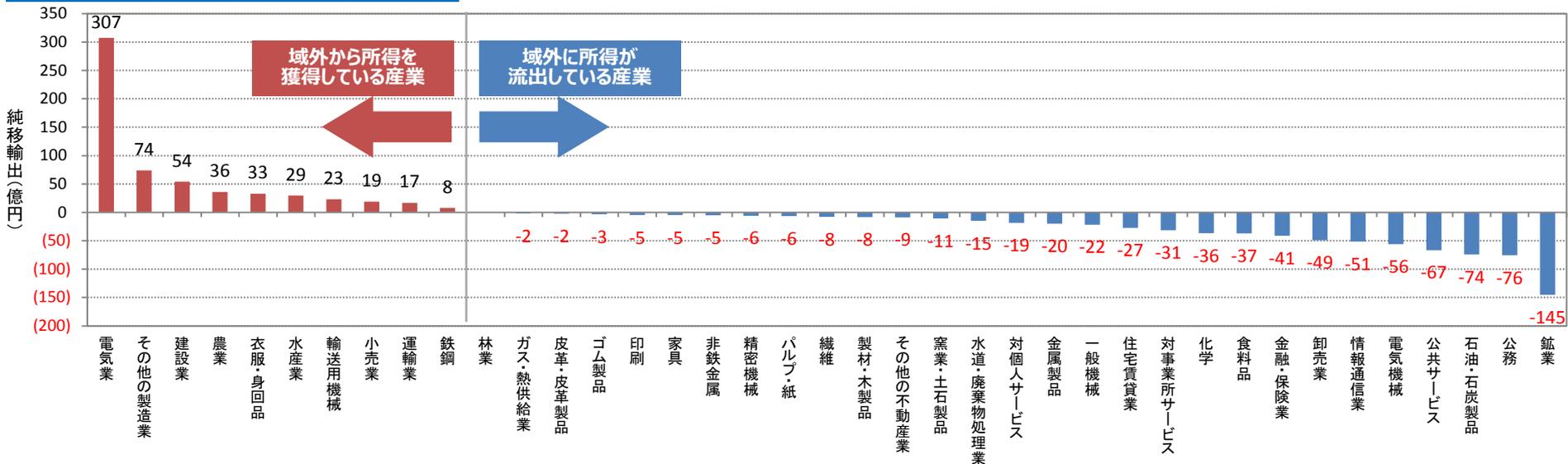
地域の得意な産業と域外から稼ぐ産業（松浦市）

①得意な産業：修正特化係数（生産額ベース）

1以上は全国平均より高い（集積している）産業を意味する

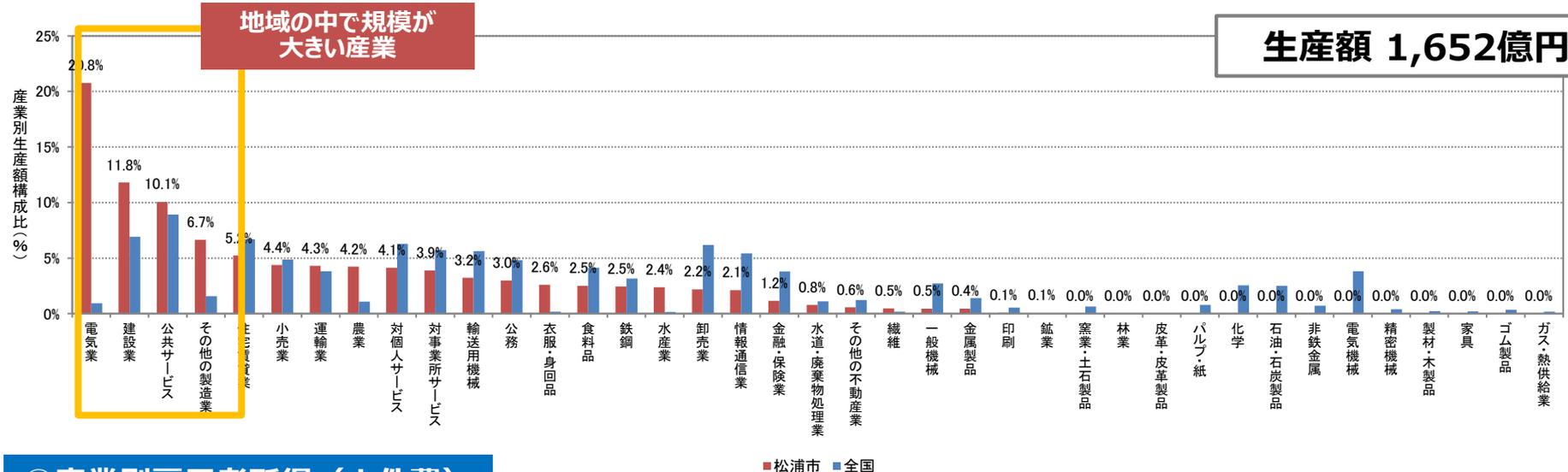


②外から稼ぐ産業：産業別の純移輸出額

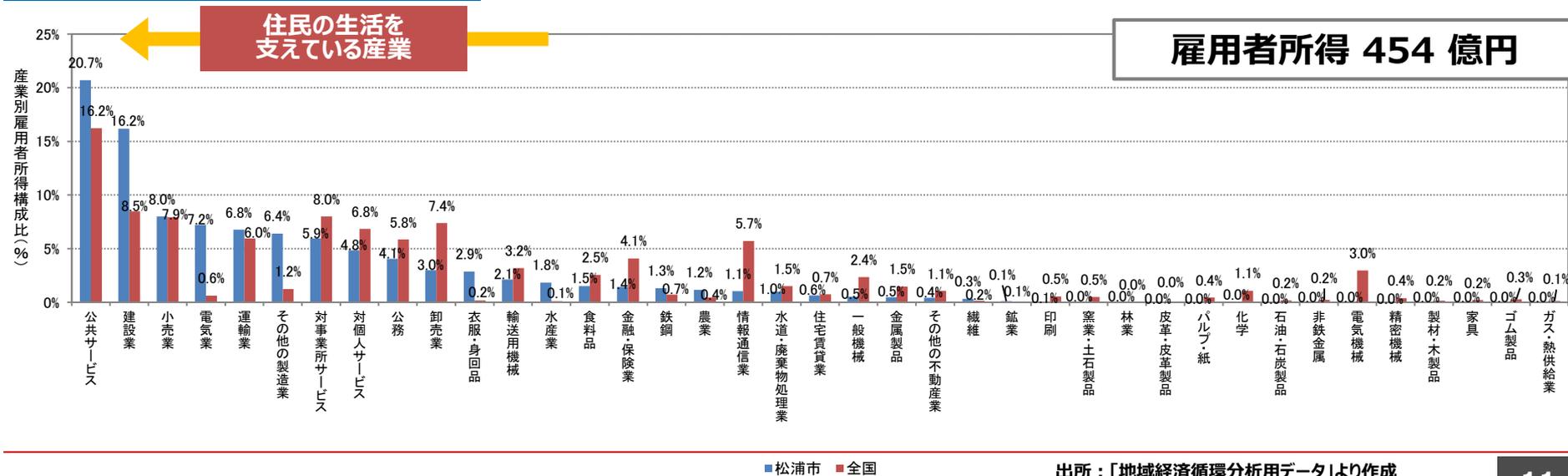


産業別の生産額・雇用者所得（松浦市）

① 産業別生産額（売上）



② 産業別雇用者所得（人件費）

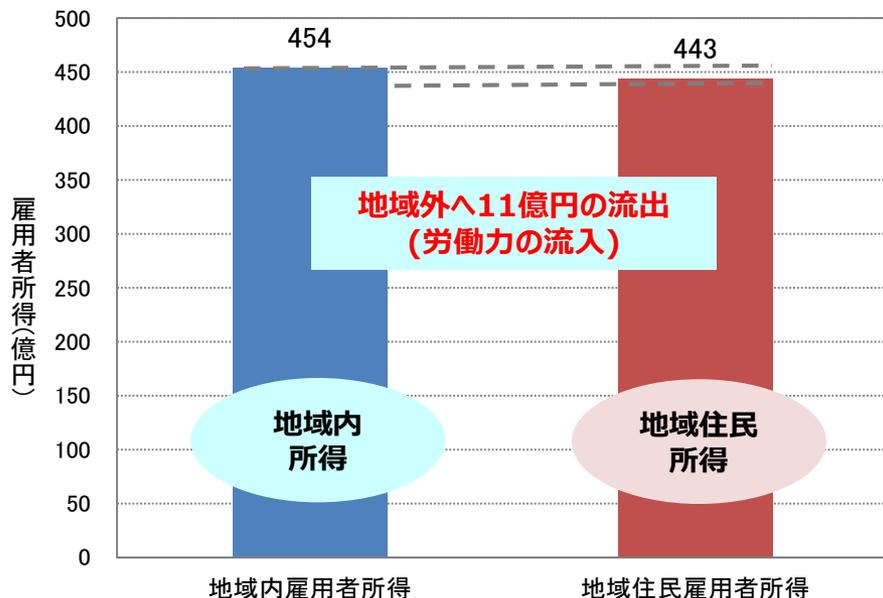


地域住民の分配所得（松浦市）

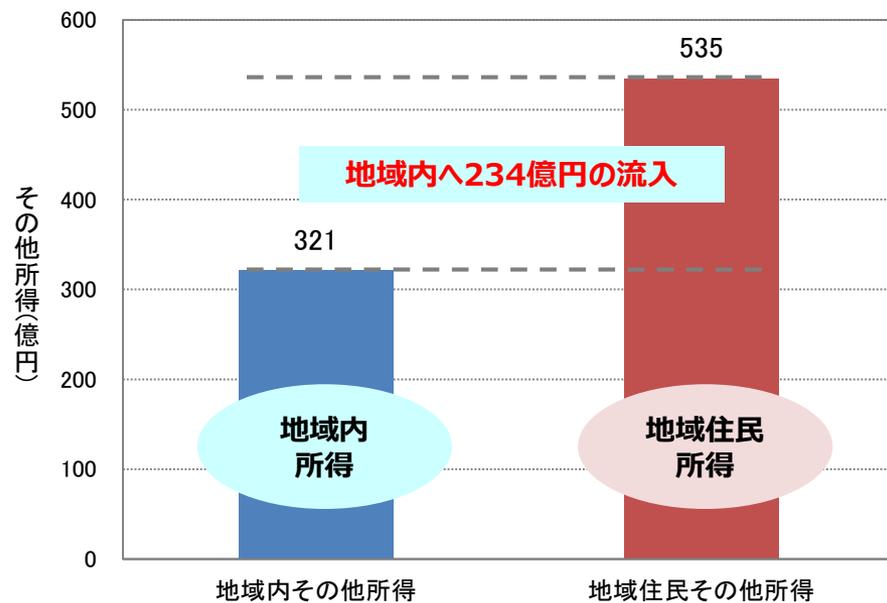
- ✓ 地域内で企業が生産・販売で得た雇用者所得の方が、地域住民が得る所得よりも11億円多く、地域外へ雇用者所得が流出している。
- ✓ すなわち、労働力が流入することにより、雇用者所得は若干流出している。

- ✓ 地域内で企業が生産・販売で得たその他所得(内部留保、配当等)の方が、地域住民が得るその他所得よりも234億円少なく、地域内へその他所得が流入している。
- ✓ その他所得の91億円（GRPに対し11.7%）が、本社等へ吸い上げられている。

① 地域内雇用者所得と地域住民の雇用者所得の比較



② 地域内その他所得と地域住民その他所得の比較



注) その他所得とは雇用者所得以外の所得であり、財産所得、企業所得、財政移転（交付税、補助金等）等が含まれる。

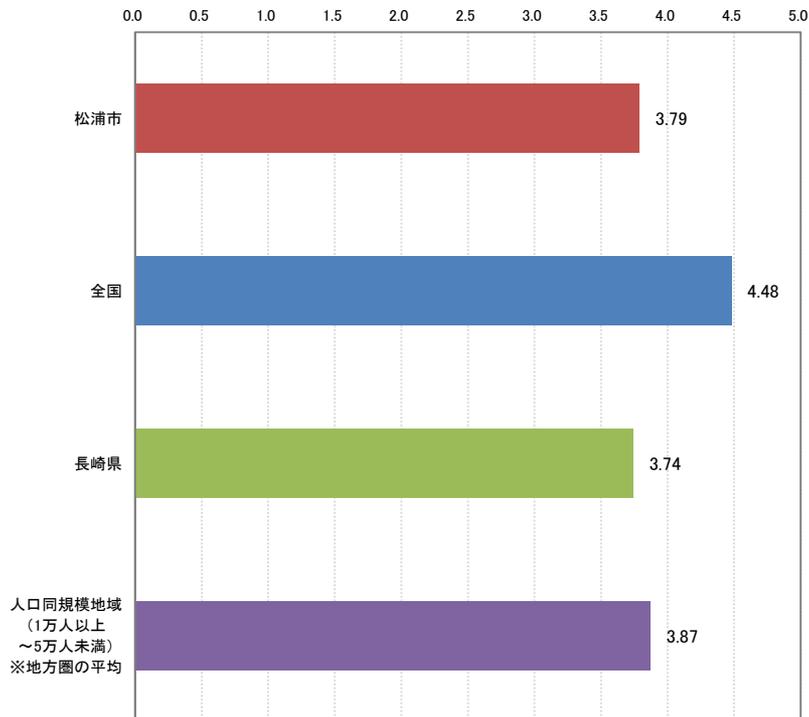
1人当たりの雇用者所得の水準（松浦市）

- ✓ 従業者1人当たりの雇用者所得は県平均より僅かながら高いが、全国及び人口同規模地域と比較して低い水準である。
- ✓ 特に、全国と比較すると69万円も小さく、市内で勤務している従業者の雇用者所得が小さいことがわかる。

- ✓ 就業者1人当たりの雇用者所得は県平均より僅かながら高いが、全国及び同規模地域と比較して低い水準である。
- ✓ また、従業者1人当たりと比較して、4万円程度大きく、市外の企業・事業所に勤務している市民の方が若干所得が高い

① 従業者1人当たり雇用者所得（従業地ベース）

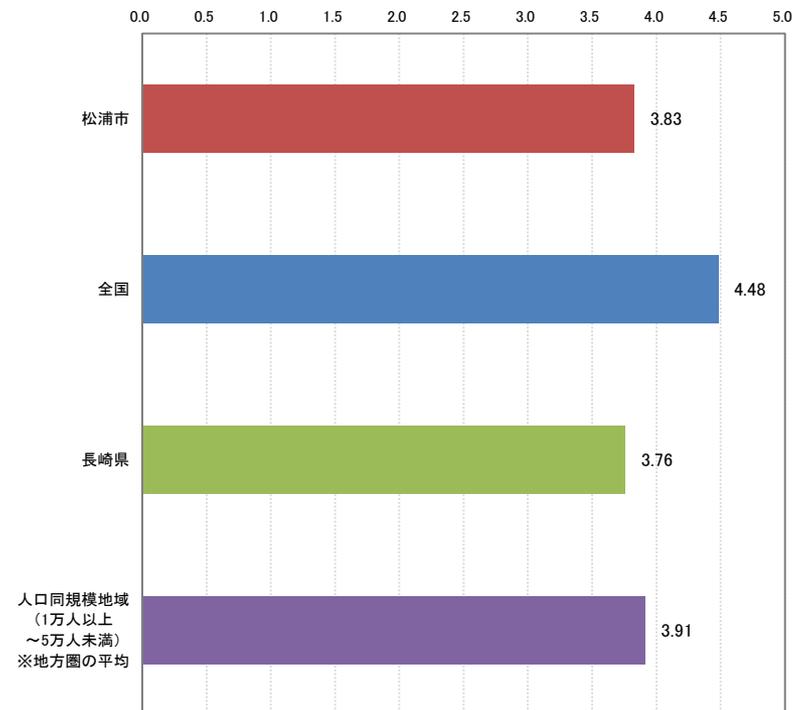
従業者1人当たり雇用者所得(百万円/人)



注) 雇用者所得は、地域内（域外からの通勤者を含む）の雇用者所得を表す。

② 就業者1人当たり雇用者所得（居住地ベース）

就業者1人当たり雇用者所得(百万円/人)



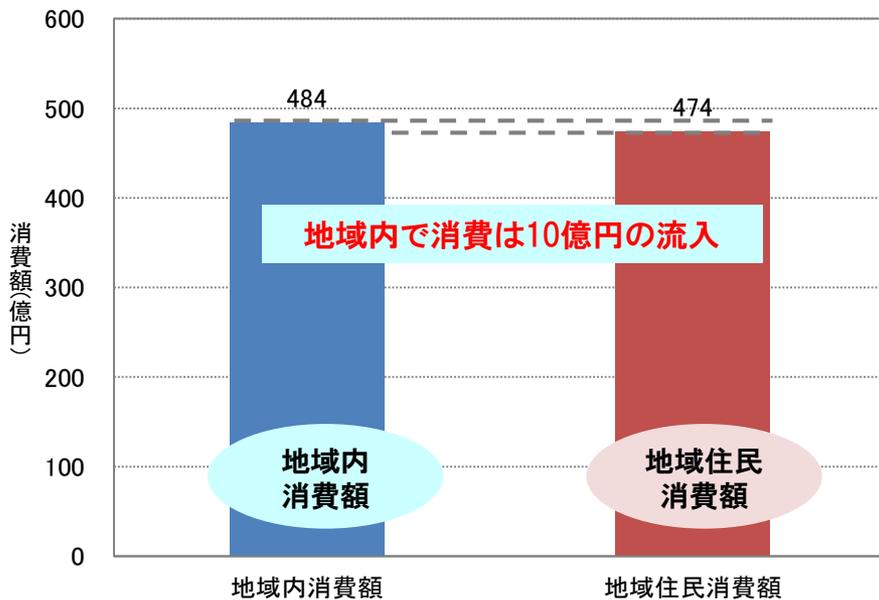
注) 雇用者所得は、地域住民（域外への通勤者を含む）の雇用者所得を表す。

消費・投資の流入・流出（松浦市）

- ✓ 地域内で消費される額が、地域の住民が消費する額よりも10億円多く、消費が流入している。

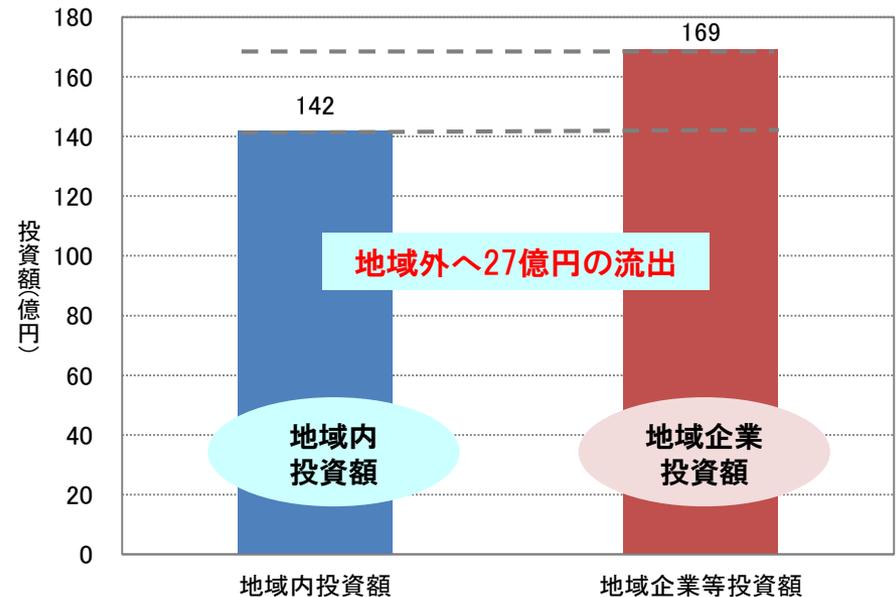
- ✓ 地域内に投資される額が、地域内の企業が投資する額よりも27億円程度少なく、地域外に投資が流出している。

①消費の流入・流出



注) 地域内消費額は、地域内の民間消費(誰が消費したかは問わない)を表す。
地域住民消費額は、地域住民の民間消費(どこで消費したかは問わない)を表す。

②投資の流入・流出



注) 投資額＝民間投資＋民間在庫品増加
地域内投資額は、地域内の投資額(誰が投資したかは問わない)を表す。
地域企業投資額は、地域内の企業・住民の投資額(どこに投資したかは問わない)を表す。
投資額は年次による額の変動が大きい点に留意する必要がある。

2. 松浦市の課題と取組の方向性

松浦市の長所

松浦市は、電気業、建設業などが強く、労働生産性が高い

① 松浦市は、電気業が中心となって産業を牽引している

- 松浦市では、労働生産性の高い電気業が産業の中心となって、松浦市の産業を支えており、多くの所得を稼いでいる。

② 松浦市は、建設業、その他製造業等も域外から所得を獲得している

- 松浦市では、労働生産性が高く、外から稼ぐ力が強い産業として、建設業やその他製造業等がある。
- 建設業は、電気業（発電所）関連の電気工事業が集積しており、労働生産性が高く、所得を獲得している。
- その他製造業では、プラスチック製品を製造する企業Aが域外から所得を獲得している。

③ 福岡都市圏をターゲットとした、長崎県県北部における面的な集客により、収入を得ている

- 松浦市は、教育旅行の受入が年間3万人を超えている。
- 自然景観（土谷棚田・海水浴場）や食（旬アジ・旬サバ・トラフグ・クロマグロ・クルマエビ・長崎ハーブ鯖・御厨ぶどう・松浦メロン等）を活かし、県北部での周遊観光地の1つとなっている。

④ 松浦市の夜間人口1人当たりの所得は高い

- 松浦市の夜間人口1人当たり所得は全国平均、県平均、人口同規模地域よりも高い水準にある。
- これは、多額の交付税や補助金等の財政移転を受けているためである。
- 一方で、夜間人口1人当たりの雇用者所得の水準は、全国平均及び人口同規模地域よりも低い。

松浦市の短所

松浦市は労働生産性が低く、投資・調達・売上全てにおいて所得が域外に流出している

①松浦市は775億円の付加価値額を計上しているが、稼ぐ力は弱い

- 松浦市の付加価値額は775億円を稼いでいるものの、全産業の1人当たり付加価値額（＝労働生産性）を見ると、県平均より僅かながら高いが、全国及び人口同規模地域と比較して低く、稼ぐ力は弱いと言える。
- これは、第3次産業は、県平均や同規模地域より高いが、第1次産業及び第2次産業が全国、県平均、同規模地域より低いためである。

②将来の生産のための設備投資は流出している

- 松浦市では27億円の設備投資が流出している。
- 地域内に十分な投資先が存在しておらず、所得が域外に投資されている状況にある。

③松浦市の経常収支は赤字となっている

- 松浦市のその他の支出は、流出しており、経常赤字となっている。
- これは、電気業やその他製造業、建設業は移輸出額が大きいものの、それ以上に川下・川中産業である鉱業（石炭）、石油・石炭製品、電気機械等が域外からの調達に依存しているためである。

④稼ぐ産業である電気業の売上は、域外の本社に流出し、生産や投資には循環していない。

- 松浦市の電気業は、企業B及び企業Cが立地しており、本社はそれぞれ域外に存在しているため、売上は大きいものの、本社に流出している。

松浦市の今後の取組の方向性

稼ぐ業種の生産性を向上させ、地域資源を活かして、域外からの誘客を目指す

① 稼ぐ業種である建設業、その他製造業、衣服・身回品等を中心に、IT導入による生産性向上を狙う

- 域内の産業の活性化を図るためには、地元の企業の育成が重要であることから、地場中小企業について、支援していく。
- 松浦市では建設業が地域内取引の中心を担っており、クラスター化が進んでいると言える。
- 電気業の原料等は海外からの輸入に頼らざるを得ないため、経常収支の健全化は困難。
- 稼ぐ業種である建設業やその他製造業において、ICT・IoT等の新技術を導入できる可能性を調査し、市内企業で勉強会を開催するなど、生産性の向上につながる新たな投資を促す。
- 先進技術の導入にあたっては、行政も一体的に取り組む。

② 農水産業の高付加価値化を目指し、加工品製造や地元飲食店での提供など地域間取引を促す

- これまでも取り組まれている内容にはなるが、地元で獲れる農産物や水産物を地域内で加工し、販売まで行うことで地域内取引の増加と域外から所得を獲得するためのコンテンツを作る。
- お土産として買える産品、地元飲食店でしか食べられない食事等を、農水産業者や商業者、飲食店等で別途ワークをすることで、アイデアを出し合い、地域らしいものを作る。
- 加工所等の整備にあたっては、行政だけでなく、地域金融機関からの融資を得られるような事業計画を策定する必要がある。
- 域外から所得を稼ぐコンテンツ（お土産・飲食店・宿泊施設等）が少ないため、松浦市の特色を押し出せるコンテンツを行政・事業者・金融機関と一緒に作っていく。